

第6回マチコミリサーチ 『お住まいの地域の広報誌について』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『お住まいの地域の広報誌について』のアンケートを実施いたしました。

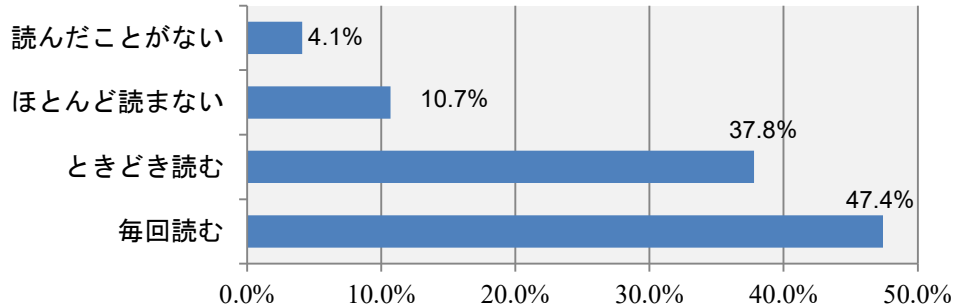
<調査概要>

調査期間	2019年3月14日(木)～3月19日(火)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	全国のマチコミメール会員
調査対象数	1,684,229名
有効回答数	20452件

<質問項目>

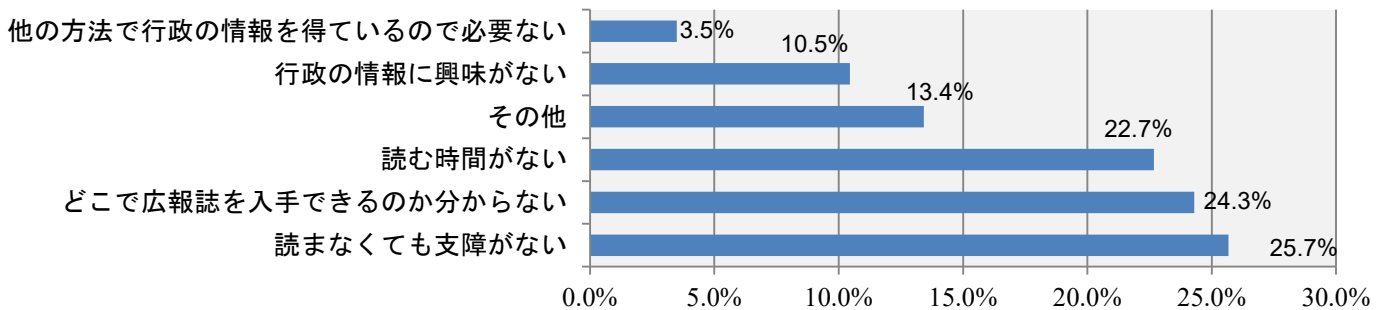
1	お住まいの自治体が発行する広報誌を読んでいますか。
2	質問1で「ほとんど読まない」「読んだことがない」と回答された方に伺います。「ほとんど読まない」「読んだことがない」理由は何ですか。
3	行政の情報について、どのような方法で得ていますか。(複数選択可)
4	広報誌に期待する役割は何ですか。
5	各自治体では、行政情報をお届けするため、広報誌やホームページ、ケーブルテレビ、FM放送などさまざまな媒体を活用しています。今後もっとも力を入れてほしい媒体は何ですか。(複数選択可)
6	広報誌を読んでいる方は役に立った情報を、読んでいない方はどのような情報が掲載されていたら読みたくなるかをご記入ください。(自由回答)
7	あなたの年齢は？
8	あなたの性別は？
9	あなたの働き方の状況は？

質問1:お住まいの自治体が発行する広報誌を読んでいますか。



最も多かったのは「毎回読む」47.4%、次に多かったのは「ときどき読む」37.8%という結果になりました。8割以上の方が何かしらの形で広報誌に目を通しているようです。地域の取り組みや文化をより広く知ってもらい、イメージの向上やより良い町づくりにつなげていく役割がある、自治体の広報誌。多くの方の手に渡り、行政の情報へ耳を傾けていたという結果に安心しました。町に魅力があり、サービスが充実していても、広報誌が読まれないことには意味がなくなってしまいます。「読んだことがない」「ほとんど読まない」と回答された方も約15%いました。その理由を見ていきましょう。

質問2:質問1で「ほとんど読まない」「読んだことがない」と回答された方に伺います。「ほとんど読まない」「読んだことがない」理由は何ですか。

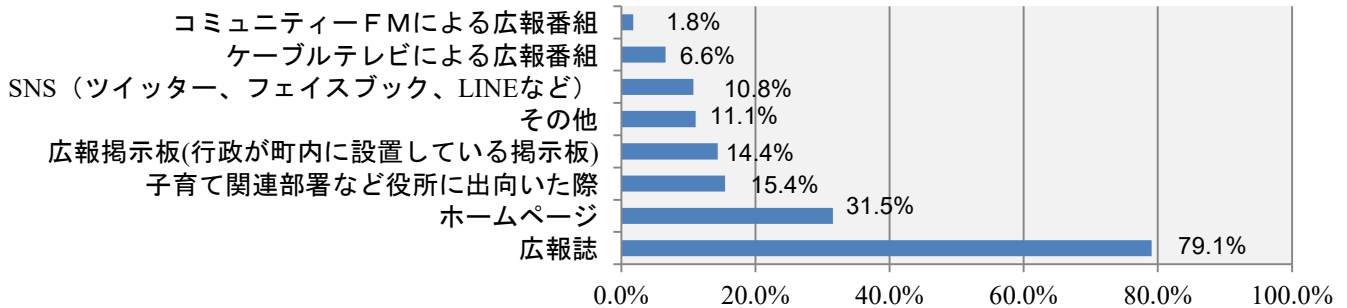


読んだことがない理由として「どこで広報誌を入手できるのか分からない」24.3%が2番目に多い結果となりました。意外と知られていなかった配布方法ですが、ポスティングや新聞の折り込み、公共施設や店頭（駅や郵便局等）設置など、実は市区町村により様々です。

“引っ越してから広報誌が届かなくなった”“この町は広報誌発行してないのかな…”という方は是非住んでいる町の配布方法を調べてみてください。広報誌はどの地域にも存在するようです。（特殊な例として、新聞に直接掲載されている地域もあります。）

新聞の折り込みで広報誌を配布している地域の方は、新聞を取っていないと目にすることはありません。その場合は、役所の窓口には必ず置いてあるので、出向いたときには是非探してみてください。

質問3: 行政の情報について、どのような方法で得ていますか。(複数選択可)



行政の情報について、79%とほとんどの方が「広報誌」で得ていました。

インターネットを通して情報を取得している方は「ホームページ」31.5%「SNS」10.8%とそれぞれいらっしゃいますが、スマートフォンが一般化している現代には少ないように感じます。このことから、行政も広報誌に力を入れていることが分かります。

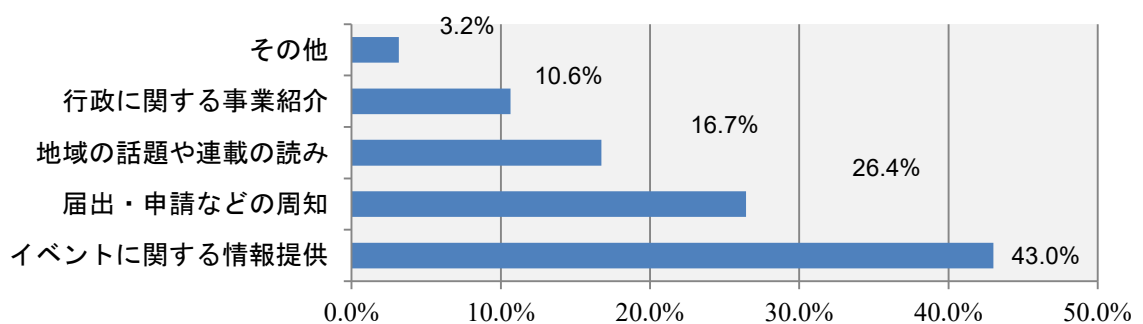
ある町の広報誌では、毎号表紙に住民の写真を起用しています。「次回は誰が表紙だろう?」「子どもの写真を広報誌の表紙に使ってほしい!」と注目を集めているそうです。特集ページの中に住民が登場する場合があります。

またある町では、広報誌の写真が動き出す「AR」が導入されています。

広報誌内の写真にスマートフォンをかざすと写真が動いたり、周りの空間におすすめページが映し出されたりするARは、特に若者に好評とのこと。

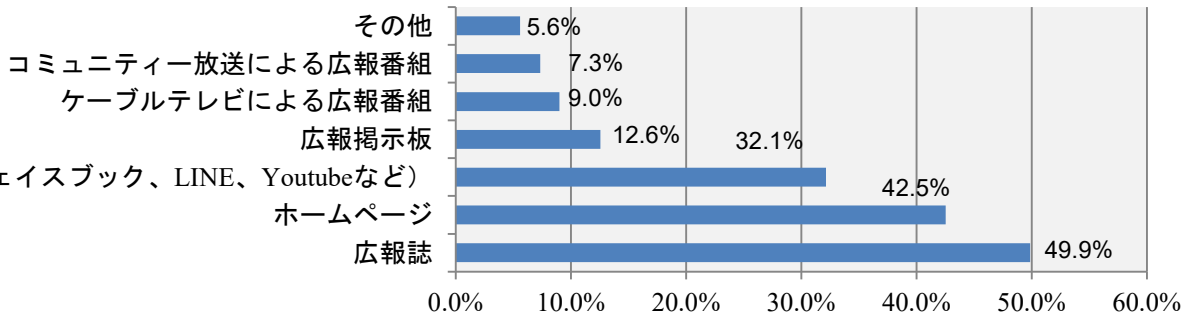
思わず手に取ってみてくれる広報誌ですよ。今後の広報誌にも、期待が高まります。

質問4: 広報誌に期待する役割は何ですか。



「イベントに関する情報提供」43%が圧倒的に一番多い結果となりました。休日などに子連れで楽しめる近場のお出かけスポットの情報がほしいとのこと。行政が運営している無料の体験イベントは人気が高いようです。また2番目に多かったのは「届出・申請などの周知」26.4%でした。子育てで忙しい中、提出書類の期限を把握するのは至難の業。まとめて書いてある場所があると安心ですよ。

質問5:各自治体では、行政情報をお届けするため、広報誌やホームページ、ケーブルテレビ、FM放送などさまざまな媒体を活用しています。今後もっとも力を入れてほしい媒体は何ですか。(複数選択可)



約半数の49.9%の方が広報誌に力を入れてほしいという結果に。様々なアイデアを取り入れた自治体の取り組みが功を奏したのか、まだまだ紙媒体として需要が高くあるようです。次いで42.5%の方が「ホームページ」32.1%の方が「SNS」と回答しました。スマートフォンから手軽に情報を取り入れることが一般化していることもあり、今後は広報誌と同じぐらい、インターネットでの広報も充実することが期待されているのですね。

質問6: 広報誌を読んでいる方は役に立った情報を、読んでいない方はどのような情報が掲載されていたら読みたくなるかをご記入ください。(自由回答)

たくさんのご意見をいただきました！！以下、一部抜粋してご紹介いたします。

回答数 : 13,768件

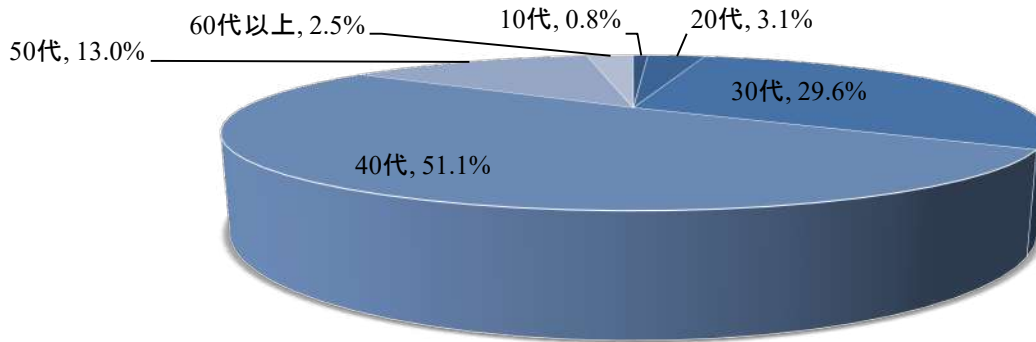
【役に立った情報】

- ・子どもが小さい頃は、親子や子ども向けのイベント情報がとても役に立ちました。それこそ、隅から隅まで情報紙を熟読しましたね。母子家庭で経済的余裕は無かったのですが、子どもにいろいろな経験をさせてあげられました。
- ・災害時の役立ち情報
- ・季節のイベントや、がん診断などの案内は役に立っています。
- ・健康診断等の予定日や地域で何を行っているかが知れて役に立ちました。
- ・地元の求人情報やイベント情報が役立ちました。
- ・年末調整や住民税などの手続きについての情報や保育園入園手続きの情報は役に立った。
- ・無料相談室などの情報は役に立つ
- ・子どもに体験させるイベント情報が毎月2回発行される広報誌にたくさん載っているので、休日は専ら広報誌の情報をもとに遊び、平日は広報誌で募集をかけている習い事をさせています。スクールに通わせるより安い価格帯でレッスンを受けられるので親としても助かります。
- ・保育園の面接日などのお知らせなど役立った
- ・空き家問題や相続の事で無料の相談窓口がある事を知った。

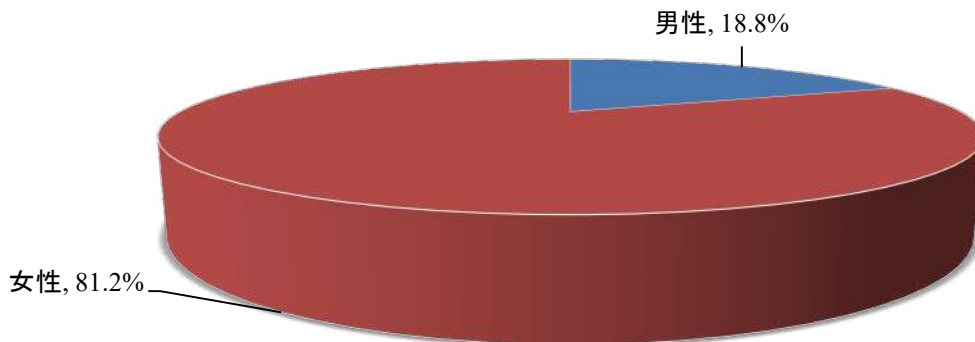
【掲載してほしい情報】

- ・読みたくなるには、読者参加型のテーマがあるといいと思います。
- ・目を引くような活字や写真で何かな？と思うような紙面にする。もちろん地域お役立ち情報や、割引クーポンなどがあるとそれを目的に紙面に目を通すきっかけになるかも。
- ・地域の美味しいお店の情報が沢山乗っていると嬉しいです。
- ・子供の習い事の教室がどこにあるかなど、紹介してほしい。
- ・イベントの当日の開催、中止など、更新を早くしてほしい
- ・申請できる権利があるものをしっかり教えてほしい
- ・広報誌に不審者情報などその地域でおきた情報も載せてほしい。もっと子育てに関する情報もほしい。
- ・イベント情報や、サービスチケット、プレゼント情報の他には最近では子育て支援ばかりですが高齢者との関わり方も情報ほしいし、税金の使い方、など知りたいです
- ・お得な情報、旬な食材の簡単レシピ
- ・年代別に情報が違うのでわかりやすく掲載してもらおうとたすかる

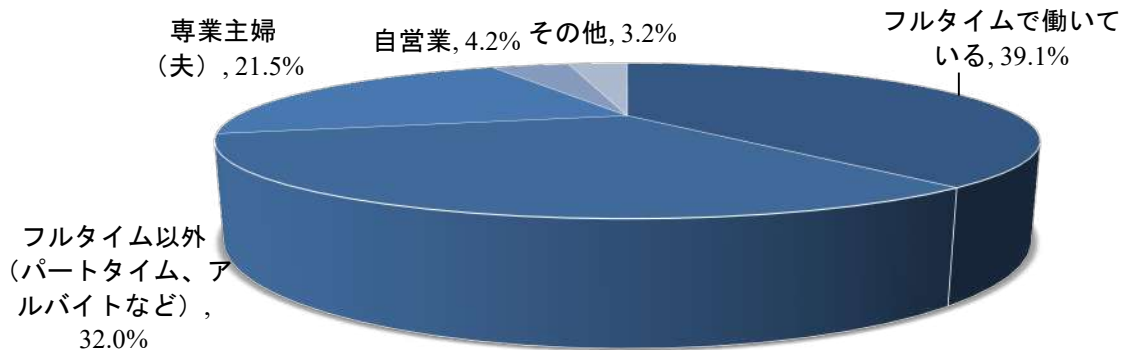
質問7:あなたの年齢は?



質問8:あなたの性別は?



質問9:あなたの働き方の状況は?



まとめ

地域に関する情報を掲載している、自治体からの広報誌。
今回のアンケートから、非常に多くの方に必要とされていることが分かりました。

インターネットの発展に伴い、タブレットやスマートフォンが普及した現代において「紙媒体は衰退してきている」との声もあります。
そんな中で自治体から発行される広報誌は今、様々なアイデアによる記事の作成により注目を集めているのです。

あなたは、今住んでいる自治体の特色を知っていますか？
子育てサポート体制が手厚い地域や、介護・医療サービスが充実している地域、観光に力を入れている地域など、自治体によって異なります。
それぞれ割引がきくものや無料サービスなどがあることも。これらの情報を把握することで、より快適に、より便利に生活することができるのです。
また引っ越しを考えている方など、引っ越し先の自治体が何に力を入れているか、広報誌等確認し把握して場所を選ぶことをおすすめします。

今回共同でアンケートを行っている鎌倉市共創計画部 広報広聴課の方によると、「伝える」から「伝える・響く」をコンセプトとした広報紙づくりを目指しているそうです。
具体的には、1面にインパクトのある写真を掲載したり、公募で選ばれた市民通信員が記事を寄稿したりと、親しみやすい記事製作に取り組んでいます。市民の方からは、今回以下のコメントをいただきました。

「「かまくら」はイベント情報や子育て支援情報をはじめ、いろいろな話題が書かれていていつも役に立っています。昔の鎌倉の写真の掲載などはとても興味深く見えています。活躍している方が掲載され、知っている顔が載っている時は興奮します。」

広報誌で住む町の今昔を知ることができるのは興味深いですね。
今まで広報誌を読んでいた方も、そうでない方も、今一度見直してみると新しい発見や新しい学びがあるかもしれません。是非自治体の広報誌に目を向けてみてください。